



山口 晋平

県政報告

第13号

2019年 春

求め合うより与え合う
山口 晋平



1月9日～11日 自民党政務調査会で、来年度施策について要望

平成最後の年が始まり、御代替りそして改元まで3ヶ月を切りました。皆様それぞれが今年の目標や抱負などを立てて決意を新たに臨んでおられると思います。私の抱負は「求め合うより支え合う」です。それぞれの幸せの追求はもちろんですが、他者の幸せを想いその為に行動実践することがその人自身の幸せ・また地域がよくなることにつながると私は確信しています。

一燈照隅・万燈照国、自分が存在するその片隅を照らす、そういう同志が万という数になると国を照らすことになる。自分自身その努力をし続けること、その同志を増やすことに注力したいと思っています。



1月25日 山下貴司法務大臣へ要望活動

去年は兵庫県政150周年という節目の年でした。県民連携事業ではたつの市・太子町でも150周年を感じながら未来を創造する事業が多くの地域で展開されました。また節目となった行財政構造改革は、収支均衡予算をはじめとした財政運営の目標を達成することができました。その成果を活かしつつきちんとした行財政運営を進めるためポスト行革、新たな行財政運営に関する条例・運営方針も策定しました。その平成31年度（2019年度）予算の審議がまもなく始まります。

基幹道路の整備促進、防災減災のまちづくり、医療・介護・福祉・保育の充実など安全安心の基盤づくり、地場産業をはじめ商工業の発展、集落営農・若手就

農者の育成・カキなどの農林水産業の発展、テクノポリスの活性化など地域の元気づくり、基礎学力・人間力を育む教育環境の充実、18歳選挙権・成人をきっかけとした家庭教育・地域教育の充実など自立した人づくりを念頭に予算審議・議会活動にしっかりと取り組みます。地元たつの市・太子町の課題についても多くの方から聞かせて頂いています。その解決に向けても全力で取り組みます。

いつの時代も、夢や希望を持ちその実に挑む方々が未来を切り開いてきました。新しい時代が始まる今年、後世に引き継ぐ地域づくりを住民主体となつてその一歩を共に踏み出していきましょう！よろしくお願い申し上げます。

山口晋平後援会総会 並びに決起集会のご案内

下記の通り「山口晋平後援会総会並びに決起集会」を開催させていただきます。年度末で何かとお忙しいとは存じますが、是非お越し頂き激励賜れば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

日時 平成31年3月16日(土) 18:00～

場所 たつの市総合文化会館 赤とんぼ文化ホール
たつの市龍野町富永
TEL 0791-63-1888

- プロフィール
- ◆昭和52年11月10日生
 - ◆たつの市龍野町島田生まれ
 - ◆龍野市立小宅小学校
 - ◆龍野市立龍野東中学校
 - ◆兵庫県立龍野高等学校(48回生)
 - ◆鳥取大学教育学部 総合科学課程理数情報コース卒業
 - ◆平成12年7月より、衆議院議員 山口つよし秘書を務める
 - ◆平成26年4月 兵庫県議会 たつの市及び揖保郡選挙区補欠選挙にて初当選
 - ◆平成27年4月 当選(2期目) 現在 農政環境常任委員会委員
 - ◆自由民主党議員団

山口晋平事務所

〒679-4109 たつの市神岡町東鶯崎 550-201
TEL 0791-65-1919 FAX 0791-60-3677

何でも
ご意見ください

山口晋平 ブログ 検索

E-mail | shimpei1110@gmail.com



LINE@始めました
登録はこちら

質問1 地域コミュニティの防災力向上について

Q 自治会や自主防災組織、消防団など地域の防災を担う人材確保をどうするのか、地区防災計画の策定や地域での防災訓練の実施など、コミュニティの防災力向上の取組をどう支援するか。

A答弁 地域の事情に応じた自主防災組織の体制強化を図るため、組織維持が困難な地域では組織の統合や再編を促進、活動が低調な組織には近隣の活力ある自主防災組織との連携活動を支援。地区防災計画は地域コミュニティにおける自発的な防災力向上を促進する上で効果が期待。その取組に対し、専門家の派遣やワークショップの開催に係る経費を支援する。この支援措置の更なる活用を地域に働き掛ける。平成31年度766,019千円を予算要求 (H30年度は674,871千円)



最近は女性消防団員が大活躍

質問2 出所者等への就業支援のあり方について

Q 昨年12月に閣議決定した再犯防止推進計画において、出所受刑者の2年以内再入率を平成27年の18%を平成33年までに16%にする目標を掲げている。無職の刑務所出所者等の再犯率は、有職の方と比べると約3倍と高く、就労支援や雇用確保が重要。

A答弁 出所前の受刑者と雇用主のマッチングを行うコレワークが開設され、この活用を国に求める。満期出所者に対しては、重犯罪者、薬物常習者、入所中の態度不良者などが多く、国に対して積極的な取組を要望していく。関係機関と連携した定着を支援する取組や入札制度の加算対象に全ての満期出所者を加えることを検討する。



法務省のホームページに紹介されました

平成31年度、刑務所出所者等雇用導入促進事業費を新規に加え、19,408千円予算要求

1月24日、自民党保護司の会として山下法務大臣に陳情



1月25日 山下法務大臣へ要望活動

質問3 地場産業のブランド化について

Q 国際フロンティア産業メッセ2018で「ひょうごじばさんフェア」が同時開催、県内のファッション関連地場産業のブースを設け、若手クリエイターの活躍や産地間連携の取組などの発表があった。その評価と今後の展開、また、県内地場産業の若手人材育成について。

A答弁 イベントの企画から運営まで各産地の若手が主体的にかかわり産地の垣根を越えた交流がフェア後も続いている。来年の国際フロンティア産業メッセでも、地場産業ブースの出展を検討する。首都圏など大きなマーケットを念頭に置いた販路拡大と若手の人材育成への支援を両輪として、産地ブランドの確立を目指し、県としても地場産業の発展を支援する。

平成31年度もじばさんフェア開催に向けて関連予算要求中！産地振興対策費として30,808千円を予算要求

質問4 姫新線の混雑緩和について

Q 平成27年度には、乗車人員が300万人を突破した後、平成28年度には310万人、昨年29年度は320万人を突破し「マイレール意識」が醸成されている。せめて混雑時だけでも車両を増結できないか。

A答弁 毎年、姫新線各駅で乗車状況調査を行い、利用者の増加による混雑悪化を確認した場合にはJRに対して混雑緩和対策を要望している。今年9月の沿線企業の社員へのアンケート結果でも増便・増結のニーズが最も高い。同盟会とともに、通勤時の増便・増結をJRへ要望する。12月18日にJRへ関係団体と一緒に要望活動

質問5 貝毒について

Q 昨シーズン、播磨灘で貝毒が発生した。広島県では、貝毒について独自に学術的に研究され、サンプリングの海域の設定、検体するペースを早めるなど独自のルールを設けておられる。ブランド化された播磨灘のカキについて、兵庫県としても広島県のように独自のルールを設定しても良いのでは。



水産振興議員連盟の会合で貝毒対策について報告

A答弁 来年以降は検査対象とする二枚貝を3種類から6種類に、調査地点を10カ所から15カ所に拡大するなど、監視体制の強化を検討。検査の迅速化も図る。広島県のような出荷自粛期間を短縮する県独自のルール設定の可能性についても検討していく必要がある。国に対して広域的な調査体制の構築や発生防止対策を求めていく。

平成31年度に4,938千円を新規予算要求

質問6 播磨光都サッカー場の利活用について

Q まちびらきから20周年。5月に自動運転EVバスの実証実験、年度末に待望のコンビニがオープン予定と今後に期待。播磨光都サッカー場は、大人用1面、子供用1面、フットサル等多目的グラウンド2面が増設、合計11面となり、148名が宿泊可能な合宿所も整備された。

A答弁 昨年10月の4面増設により県内屈指の規模となり、利用者数は1.3倍に増加し、約20万人。グラウンドゴルフ等サッカー以外のスポーツ利用やドローンの技術研修等、新たな利用を推進している。サッカー等のスポーツを通じた、まちの一体感の醸成やにぎわいづくりにつなげていく。

質問7 交番等に対する防犯カメラの設置について

Q 兵庫県下には、交番が426カ所、駐在所が275カ所設置されているが、防犯カメラが設置されている交番は32カ所、駐在所は6カ所にとどまっている。警察官の安全を守るという観点のみならず、さまざまな事件などに対する抑止力にもなり得ることから、防犯カメラ設置を。

A答弁 防犯カメラは犯罪の抑止効果が高く、安心感の醸成による体感治安の向上が期待できるとともに、事件・事故が発生した際には客観証拠の収集ができるなど、捜査活動に欠くことのできないツール。交番等の建替に合わせて防犯カメラを設置しているところだが、今後、未設置の交番・駐在所に対する計画的な設置も検討する。

4年間の本会議一般質問内容

平成27年度

農政環境常任委員会

- 1、科学技術基盤の利活用促進
2、青少年の体験活動の推進 (H28年度ふるさと貢献活動の実施 31,260千円[拡充]に反映)
3、介護保険制度改正に伴う県の対応
4、獣害被害・獣害対策 (H28年度シカの年間捕獲目標を35,000頭から45,000頭に拡大、シカ丸ごと一頭活用大作戦22,774千円[拡充]に反映)
5、土砂災害対策
6、土曜授業の復活
7、自転車の安全教育

平成28年度

自由民主党議員団政務調査副会長、警察常任委員会、決算特別委員会

- 1、社会福祉法人制度改革
2、待機児童の解消 (H29年度 多くの新規・拡充事業で保育・人材確保に反映)
3、兵庫への移住対策
4、地場産業のブランド力強化
5、集落営農法人の経営力強化
6、18歳選挙権を契機とした家庭・地域の学びの場の提供

平成29年度

文教常任委員会、予算特別委員会理事

- 1、県内企業の活性化に資する県立大学
2、非常用電源の適正な配置や点検
3、地場産業の支援 (H30年度 初めてファッション関連地場産品「じばさんフェア」開催)
4、集落営農法人の収益力強化
5、JR姫新線の今後の展開について
6、県立高等学校探究活動推進事業について (H30年度 県立高校生が考える県政150周年記念授業が実施)
7、播磨科学公園都市20周年事業の評価と今後の取組

平成30年度

農政環境常任委員会

- 1、地域コミュニティの防災力向上について (H31年度 予算拡充要求中)
2、出所者等への就業支援のあり方 (H31年度 出所者等雇用導入促進事業費を新規に予算要求中)
3、地場産業のブランド力について
4、姫新線の混雑緩和 (関係団体とJRに対し要望活動)
5、貝毒について (H31年度 新規予算要求中)
6、播磨光都サッカー場の利活用について
7、交番等に対する防犯カメラの設置